

第63回国立大学図書館協会総会 海外派遣報告

2015 EAJRS conference in Leiden における発表

平成28年6月17日（金）

長崎大学学術情報部学術情報サービス課学術情報サービス班（医学情報）
後藤史彦

鹿児島大学学術情報部情報サービス課情報調査支援係
西園由依

参加目的

- ・長崎大学・鹿児島大学で各自所蔵する特色あるコレクションについての情報提供、ならびに、資料共有に関する取り組みの紹介
- ・日本資料の共有等に関する国内外の動向・事例についての情報収集、意見交換

EAJRSについて

European Association of
Japanese Resource Specialists

の略称

欧洲における日本資料の専門家(図書館員や研究者等)を
メンバーとして、日本の資料や情報を普及・促進させるため
の活動を行っている。

EAJRS第26回(2015)年次大会

テーマ: 「Breaking Barriers – Unlocking Japanese Resources to the World」

従来あまり知られてこなかった一次資料を普及させるための取り組みに特に焦点。

日程: 2015年9月16日(水)～19日(土)

場所: オランダ ライデン

参加人数: 125名(欧洲・日本・北米等の16か国より参加)

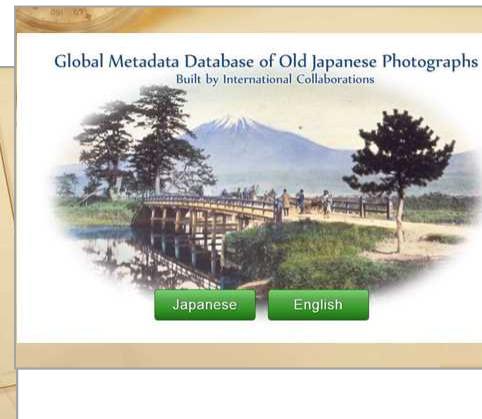
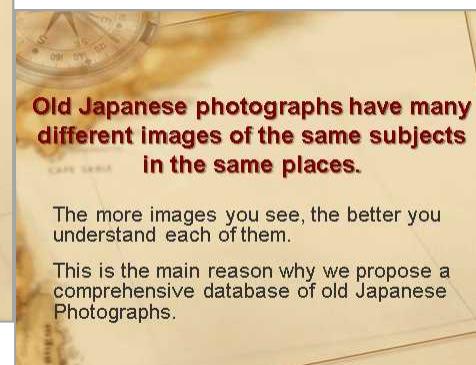
http://eajrs.net/2015_eajrs_conference_in_leiden

発表内容(長崎大学)

「長崎大学の日本古写真コレクションと「日本古写真グローバル・メタデータ・データベース」構築事業について」
("Nagasaki University's collection of old Japanese photographs and development of the 'Global Metadata Database of Old Japanese Photographs'"")

Contents

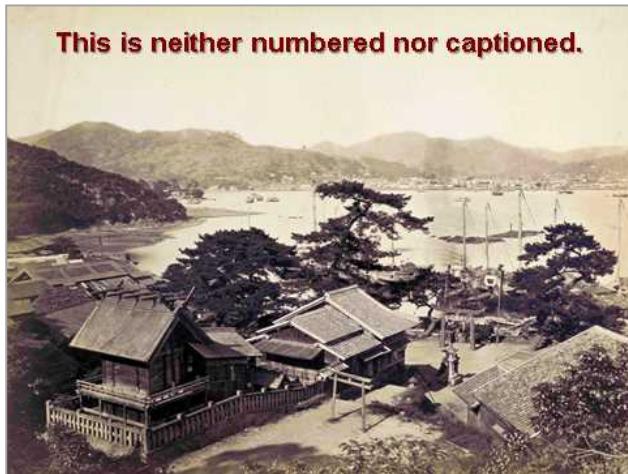
1. Nagasaki University's Collection of Old Japanese Photographs
2. Old Japanese Photographs Scattered around the World and their Characteristics
3. Development of the 'Global Metadata Database of Old Japanese Photographs'



発表内容(長崎大学)

長崎大学が有する、国内最大級の日本古写真コレクション(約7,000点)について、紹介を行なった。

さらに、世界各地に点在する日本古写真の特性に関する説明や、構築中の「日本古写真グローバル・メタデータ・データベース」の紹介を行なった。



同じネガから作られた写真であるが、彩色やキャプションの有無に違いがある



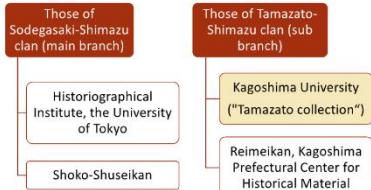
発表内容(鹿児島大学)

「日本近代化における薩摩藩の視座とその文化遺産の共有に向けた取り組み」("Japanese modernization and the perspective of Satsuma Domain: efforts for sharing its cultural heritage")

発表資料: <https://goo.gl/f37QA5>

Documents and collections of Shimazu clan

- The documents and collections of the Shimazu clan are dispersedly preserved in Japan.



To preserve this cultural heritage continuously by whole of Kagoshima region

- Holding exhibitions serves as opportunity for:
 - disseminating the value of the collection to the wider people living geographically far from our University. It can lead to increase people's awareness of cultural heritage near at hand, to deepen the understanding of it and to foster their awareness of the importance of preservation.
 - deepening the relationship between local MLA institutions and scholarly improvement through the collaboration (sometimes finding new material).
 - diverse understanding of the collection through various themes
- Continuous efforts for sharing the value of the collection throughout the region

18 Sep 2015

EAJRS conference in Leiden

7

Comparison with original edition



Toward more desirable digital archive

- We need to facilitate discoverability, visibility and interoperability of the data (within limited resources).
- To achieve this, first of all, we are going to make our digital archive to be a cooperation target of "National Diet Library search", one of the biggest portal of Japanese resources. No more just to be scattered.
- Rich metadata, various access point, multilingualization (including Romanization), linking to related information and so on
- We need to communicate with our stakeholders to share common awareness of the role and the responsibility as a possessor of the cultural heritage.

18 Sep 2015

EAJRS conference in Leiden

37

発表内容(鹿児島大学)

- ・ 玉里文庫概要説明
- ・ 開催地に関わりの深い洋学資料の日本における受容という観点から玉里文庫資料を数点紹介
- ・ 貴重書公開事業やデジタルアーカイブを通した持続的な資料共有の取り組みについて
 - ・ 鹿児島大学だけではなく、地域全体の文化遺産としての認識の共有を促進する意味合い
 - ・ よりのぞましいデジタルアーカイブとは？そのための一機関が取り得る実現手段は？

他の発表等について

- 11セッション、全35本の発表(資料・動画の多くは大会サイトで公開)
- ベンダー等によるワークショップ
- ライデン大学中央図書館やシーボルトハウスなどでの貴重資料閲覧

番号	セッションタイトル
1	オープンアクセスおよびデジタル・ヒューマニティーズに関する特別セッション
2	デジタル・ディスカバリー
3	ライデン大学図書館の特別コレクション
4	日本の歴史におけるオランダ資料に関する特別セッション
5	コレクション・資料紹介:近代
6	コレクション・資料紹介:現代
7	コレクション・資料紹介:未知のもの、神秘的なもの
8	外邦図
9	図書館のサービスおよび開発
10	日本史調査におけるデータベースの開発
11	現在進行中のプロジェクトに関する最新情報

他の発表等について

(例)

- ・ 日本研究資料におけるデジタルスコラシップの課題
- ・ 越境する沖縄研究と資料II：「阪巻・宝玲文庫」のデジタル化プロジェクトを通して / 障壁をのり越えて：太平洋間の協力が貴重資料庫の扉を開く
- ・ 日本における外邦図デジタルアーカイブの構築と今後の展開
- ・ イエール大学におけるLGBTQ収集プロジェクトの現状と課題

総括

成果：

- ・ 自機関の取り組みに関して国内外に向けた情報発信を行えたこと
- ・ 今後の取り組みを検討する上で参考となる、フィードバックや新たな知見を得られたこと
- ・ 共通の関心を有する参加者間で人的ネットワークの構築・拡大を行えたこと
- ・ 日本資料やその情報の流通に関する課題の認識と共有を行えたこと ～さらなる「Breaking Barriers」に向けて